

遠州病院内科専門医研修プログラム (JA静岡厚生連遠州病院)

1 はじめに

当院は回復期リハビリ病棟を備えた病床数 400 の中規模病院であり、急性期より慢性期、その後の在宅、および施設療養を視野に入れた一貫した医療の提供・研修が可能となっています。内科研修は一般内科疾患の経験・研修に主眼をおき、内科各専門家指導医 13 名が担当します。



プログラム統括責任者 遠州病院 副院長（診療部長） 高瀬浩之

2 目的

内科診療にはいろいろな側面があり、急性期疾患の救急対応、慢性疾患の診療のみならず、高齢社会をむかえて内科疾患の治療後のリハビリ、あるいは介護・療養の問題もあります。また、担癌患者さんの緩和医療・就業支援等の問題もあります。

当院では内科専門研修のなかで疾患の治療以外の患者さん・患者さん家族のかかえる諸問題を各部門スタッフの助けを借りながら解決する過程で、コメディカルのスタッフとのチーム医療を体得できると考えています。病院から在宅への流れの中、かかりつけ医として内科診療以外の周辺の諸問題の解決はますます重要となっていますし、内科医に求められる評価もされるべき診療能力と考えています。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

J A 静岡厚生連遠州病院

(2) 専門研修連携施設

浜松医科大学医学部附属病院

浜松医療センター

4 専攻医受入数

5 名

5 研修期間

原則、初年度、および3年目に基幹施設研修2年、2年目に連携施設1年を予定しているが、症例の研修状況、連携施設との相談により研修期間、研修時期の変更は可能である。研修医として初期研修、および内科専攻医研修の初期の段階で総合内科専門医資格申請に必要な症例を経験済みの専攻医は上記の原則的な研修期間に縛られずにサブスペシャリティ研修の開始が可能である。

6 研修計画（例）

JA 静岡厚生連遠州病院内科研修プログラム

1年目
(3年次)

- ・JA静岡厚生連遠州病院
消化器、循環器、呼吸器、神経

2年目
(4年次)

- ・連携施設
血液、膠原病、腎、糖尿病・内分泌、
救急・JMECC

3年目
(5年次)

- ・JA静岡厚生連遠州病院
基本内科研修
サブスペシャリティ研修

7 問い合わせ先

J A 静岡厚生連遠州病院 内科 高瀬浩之

TEL :053-453-1111 , FAX: 053-401-0081

Email: eh-rinken@ken.ja-shizuoka.or.jp